

全国高等専門学校 第20回プログラミングコンテスト

募集要項

主催 高等専門学校連合会（国公立高専の連合組織）

共催 NPO 法人 高専プロコン交流育成協会

後援（予定）

文部科学省 千葉県 千葉県教育委員会 木更津市
木更津市教育委員会 袖ヶ浦市 袖ヶ浦市教育委員会
君津市 君津市教育委員会 富津市 富津市教育委員会
木更津商工会議所 社団法人コンピュータソフトウェア協会
社団法人情報処理学会 社団法人電子情報通信学会
教育システム情報学会 独立行政法人情報通信研究機構
NHK 株式会社千葉日報社 木更津工業高等専門学校技術振興交流会
木更津工業高等専門学校後援会 木更津工業高等専門学校同窓会

協賛

東芝ソリューション(株)、(株)インテム、チームラボ(株)、(株)トヨタコミュニケーションシステム、富士通(株)、マイクロソフト(株)、アイフォーコム(株)、(株)ヴァル研究所、セイコーエプソン(株)、(株)BCN、(株)ワコム、その他 20社以上を予定

主管校 木更津工業高等専門学校

事務局

大会事務局 独立行政法人 国立高等専門学校機構企画課内

委員会事務局 木更津工業高等専門学校学生課内

プロコン公式サイト

<http://www.procon.gr.jp/>

審査委員（敬称略、五十音順）

審査委員長

神沼靖子（情報処理学会 フェロー）

審査委員

白井 支朗（理化学研究所脳科学総合研究センター チームリーダー）

梅村 恭司（豊橋技術科学大学 教授）

大岩 元 (帝京平成大学 教授)
國枝 義敏 (立命館大学 教授)
松澤 照男 (北陸先端科学技術大学院大学 教授)
三上 繁実 (NHK 放送技術局 ニュース・ネットワーク部長)
宮地 力 (国立スポーツ科学センター 副主任研究員)
吉川 敏則 (長岡技術科学大学 教授)
他に協賛各社を代表した企業審査委員を予定

はじめに

全国高等専門学校第20回プログラミングコンテストを開催します。本コンテストは、高専生が日ごろの学習成果を活かし、情報処理技術におけるアイデアと実現力を競うものです。前回同様、今大会も課題部門・自由部門・競技部門の3部門で作品を募集します。高専生の実力を世に問う絶好の機会でもありますので、高専生ならではの独創的なアイデアを練り上げていただくとともに、近年著しい発展を続けている情報処理技術を駆使した作品に挑んで下さい。コンテストは予選と本選から構成されています。予選の選考には作品のアイデアが重視され、応募の段階では作品が未完成であっても構いませんが、実現性も要求されません。

本コンテストは、応募作品の発想の柔軟性やそのレベルの高さにおいて、関係各界から高い評価を得ています。また、NHK教育放送をはじめマスコミでも大きく取り上げられ、創造性教育のプロジェクトとしても注目を集めております。さらに最近では海外チームのオープン参加もあり、情報処理技術を競う国際交流の場ともなっております。全国高専生が参加するこの一大イベントに、多くの高専生からの積極的な応募をお待ちしております。

本コンテストは、文部科学省をはじめとする多くの共催・後援団体ならびに協賛企業の支援により開催されます。本選での優秀チームには、文部科学大臣賞および情報処理学会若手奨励賞が授与されます。

開催期日及び会場

1. 募集期間

平成21年5月22日(金)～5月29日(金)

2. 予選(書類審査)

期日 平成21年6月27日(土)

会場 国立高専機構田町CICオフィス

3. 予選結果

平成 21 年 7 月 3 日（金）までにプロコン公式サイトにて公表する予定です。

なお、学校宛に郵送にて通知します。

4. 本選（詳細は予選通過者に別途連絡します）

期日 平成 21 年 10 月 17 日（土）？10 月 18 日（日）

会場 かずさアカデミアホール（千葉県 木更津市 かずさ鎌足 2-3-9）

主管校 木更津工業高等専門学校

※本選の様子はインターネット経由で LIVE 配信する予定です。

応募資格

全国の国公立高等専門学校に応募の時点で在籍する学生（専攻科生を含む）

募集部門（各部門内容についてはプロコン公式サイトをご参照ください）

各高専について以下のように募集します。

課題部門 2 チーム以内 1 チームの人数は 2?5 名

自由部門 2 チーム以内 1 チームの人数は 2?5 名

競技部門 1 チーム 1 チームの人数は 2?3 名

1 チームにつき 1 作品を応募してください。なお、学生の重複登録は禁止します。つまり同一学生が複数のチームに属することはできません。また、複数校の学生による混成チームは認められません。

課題、自由部門における登録に関して、応募時点からの変更は認めません。

競技部門に関しては、予選通過後の登録者の変更を認めますが、指導教員の変更はできません。

応募作品について

パーソナルコンピュータなどで実行可能なソフトウェアであり、本選でデモンストレーションおよびプレゼンテーションができる作品、あるいは競技ができる作品を応募してください。

ただし、予選は書類審査ですので、システムのアイデアが固まっただけの状態でも応募できます。つまり、予選通過後にシステムを完成させても構いません。

審査方法

本コンテストは予選・本選の2段階で実施します。予選・本選を通じて、高専生の豊かな創造性を重視します。

予選審査方法

1. 予選は、応募要領に従って提出された PDF ファイルに基づいての書類審査を行います。
2. 予選審査は作品の独創性が重点的に評価されます。また、有用性・実現の可能性についても重視されます。
3. 課題部門については、応募作品の内容がテーマに相応しいかを審査します。
4. 課題部門および自由部門では、両部門合計40チーム程度が予選を通過します。

各部門の予選通過数は、半数程度は成績評価によって、残りの半数程度は、成績評価の他に同一高専の出場チーム数等を加味して決定されます。

5. 競技部門は、応募用紙に書かれた実現の方法とそのアイデアのおもしろさ、実現の可能性によって評価します。

本選審査方法

予選を通過したチームにより本選を行います。

1.課題部門および自由部門

プレゼンテーションおよびデモンストレーションを総合的に審査します。審査の観点は、独創性・システム開発の技術力・有用性・操作性・マニュアル作成能力・発表能力（ドキュメンテーション能力、プレゼンテーション能力）などです。

なお、操作マニュアル・プログラムソースリストも審査の参考にします。本選参加チームは、操作マニュアルとプログラムソースリストを本選受付時に提出してください。

2.競技部門

対抗戦により勝敗を決定します。

表彰

課題部門、自由部門においてそれぞれ次の賞を授与します。

最優秀賞 *	1点（賞状および副賞）
優秀賞	1点（賞状および副賞）
特別賞	数点（賞状および副賞）

*最優秀チームには文部科学大臣賞および情報処理学会若手奨励賞が授与されます。

競技部門において次の賞を授与します。

優勝 *	1点（賞状および副賞）
準優勝	1点（賞状および副賞）
第三位	1点（賞状および副賞）
特別賞	数点（賞状および副賞）

* 優勝チームには文部科学大臣賞および情報処理学会若手奨励賞が授与されます。また、優勝チームの2年生以下の学生は、高校以下を対象とした「日本情報オリンピック」の本選に招待されます（登録学生に2年生以下の学生を必ず含まなければならないということではありません）。

注意事項

1. システムの完成度について

本選に参加するチームは、予選通過時のアイデアを実現できるよう努力してください。予選通過時のアイデアが十分に実現されていない場合は、落選となる場合があるので注意してください。

2. 交通費について

本選に参加する場合の交通費・宿泊費は、全部門について主催者からは支給しません。なお、宿泊所は主催者で斡旋しますので、本選参加時の別途通知に従ってください。

3. システム搬送について

本選での課題・自由部門のデモンストレーションおよび競技に必要なシステムの搬送費用は、参加者側で負担してください。搬送手順の詳細については予選通過後に別途通知します。なお、主催者が各チームにコンピュータ等を準備することはありませんので注意してください。

4. 課題・自由部門のデモンストレーションの展示スペース・インターネット接続について
会場の都合で本選の展示スペースは、1システムについて原則的に幅180cm、奥行180cm、高さ200cm程度に制限されます。詳細はプロコン公式サイトで公開しますので、規定内に収まるようにしてください。

また各ブースにインターネット接続を提供する予定です。

5. 知的所有権等について

応募作品に対する著作権は応募者が有しますが、以下の資料等については、記録ビデオ、プロコン公式サイト、パンフレット等に掲載することがあります。また、教育目的に使用する場合がありますのでご了承ください。

- (1) 応募時に提出していただいた書類（作品紹介、応募内容ファイル）
- (2) 本選時に提出いただく書類（パンフレット原稿、操作マニュアル）
- (3) 本選時に撮影した写真・ビデオ及びプレゼンテーション用データ